

新聞掲載記事より

《長崎新聞 令和7年10月27日朝刊より》

※新聞記事のレイアウトを変更しております。

2025年度の全国の国立大学病院の経常損益赤字は400億円を超える可能性があるとの報告がなされました。日本医師会の調査でも、医療法人立医療機関のうち24年度医業利益が赤字となつた割合は45・2%でした。25年度はさらに厳しい経営状況になり、赤字となる医療機関が5割を超えるのではと考えられます。大学病院、自治体病院、民間医療機関いずれもが厳しい経営を強いられているのが現状です。

このままでは、多くの医療機関が事業を断念し、医療提供を継続できなくなると危惧されます。総医療費が増えているのは、高齢化と医療技術の高度化・高額化のためです。しかし、収入を上回る人件費や水道光熱費を含めた諸物価高騰に診療報酬がそぐわないため、収益が落ちて

【質問】医療機関の赤字報道を目にします。総医療費が増え続けているのに、なぜ医療機関は赤字になるのでしょうか。
(45歳、会社員)

医療機関の赤字

24年度の診療報酬改定で看護師を含めた医療関連職種のベース



物価高騰に経営悪化

診療報酬大幅アップを

診療報酬には消費税がかかりませんから、患者から消費税を受け取ることはありませんが、薬や医療機器等を購入する際の消費税は医療機関が支払っています。物価高騰に対する不十分な診療報酬に加え、増加した消費税の負担が大

ます。また、高額な医薬品や材料の増加が医業利益を下げるといわれています。薬自体には薬価差益はほとんどないものの、それに付随する諸経費が赤字を増長しています。

最先端であるロボット手術では本体価格、保守点検費用、それに伴う減価償却費といつた高額な導入・維持費により

治療や手術をすると逆に赤字になってしまいます。

アップ料が新設されましたが不十分でした。仕事が忙しく責任が重い職業の割には収入が少なく、離職する看護師は増え、看護師を目指す学生は減少傾向にあります。看護職の人手不足は今後顕著になつてくるものと思われます。

物価の高騰自体も赤字の要因です。加えて、建築もままならない状況

(県医師会)

質問をどうぞ

この欄では県医師会が医療制度全般の質問にお答えします。質問希望の方は知りたい内容を分かりやすくまとめ、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、不明な点をお聞きする場合がありますので住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記してください。なお、直接本人への回答はいたしません。